

令和5年度 第1回 西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事録

開催日時	令和5年6月19日(月) 午後2時～午後3時45分																																																
開催場所	西尾市役所 41 会議室																																																
出席者	<p>【会長】</p> <table border="1" data-bbox="371 353 1350 398"> <tr> <td>日本福祉大学</td> <td>千頭 聡</td> </tr> </table> <p>【副会長】</p> <table border="1" data-bbox="371 441 1350 486"> <tr> <td>NPO 法人やらまいか人まちサポート</td> <td>牧野 明広</td> </tr> </table> <p>【審議会委員】</p> <table border="1" data-bbox="371 528 1350 853"> <tr> <td>西三河農業協同組合</td> <td>黒野 善久</td> </tr> <tr> <td>西三河漁業協同組合</td> <td>黒田 哲也</td> </tr> <tr> <td>西尾市観光協会</td> <td>乾 浩泰</td> </tr> <tr> <td>連合愛知三河中地域協議会 西尾地区連絡会</td> <td>小林 英明</td> </tr> <tr> <td>株式会社キャッチネットワーク</td> <td>天野 栄</td> </tr> <tr> <td>西尾商工会議所中小企業相談所</td> <td>蜂谷 佳夫</td> </tr> <tr> <td>西尾信用金庫</td> <td>樺山 幸彦</td> </tr> <tr> <td>矢田つぼみ保育園</td> <td>黒木 洋子</td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table border="1" data-bbox="371 896 1350 1061"> <tr> <td>総合政策部秘書政策課</td> <td>課長</td> <td>大野 修司</td> </tr> <tr> <td>総合政策部秘書政策課</td> <td>主任主査</td> <td>杉浦 祐嗣</td> </tr> <tr> <td>総合政策部秘書政策課</td> <td>主査</td> <td>都築 典恵</td> </tr> <tr> <td>総合政策部秘書政策課</td> <td>主事</td> <td>原田 英典</td> </tr> </table> <p>【交付金対象事業関係者】</p> <table border="1" data-bbox="371 1104 1350 1312"> <tr> <td>産業部商工振興課</td> <td>課長補佐</td> <td>山崎 高志</td> </tr> <tr> <td>交流共創部観光文化振興課</td> <td>課長補佐</td> <td>下村 幸成</td> </tr> <tr> <td>交流共創部観光文化振興課</td> <td>主査</td> <td>榊原 裕市</td> </tr> <tr> <td>交流共創部スポーツ振興課</td> <td>課長補佐</td> <td>倉谷 和成</td> </tr> <tr> <td>交流共創部スポーツ振興課</td> <td>課長補佐</td> <td>神谷 法子</td> </tr> </table>		日本福祉大学	千頭 聡	NPO 法人やらまいか人まちサポート	牧野 明広	西三河農業協同組合	黒野 善久	西三河漁業協同組合	黒田 哲也	西尾市観光協会	乾 浩泰	連合愛知三河中地域協議会 西尾地区連絡会	小林 英明	株式会社キャッチネットワーク	天野 栄	西尾商工会議所中小企業相談所	蜂谷 佳夫	西尾信用金庫	樺山 幸彦	矢田つぼみ保育園	黒木 洋子	総合政策部秘書政策課	課長	大野 修司	総合政策部秘書政策課	主任主査	杉浦 祐嗣	総合政策部秘書政策課	主査	都築 典恵	総合政策部秘書政策課	主事	原田 英典	産業部商工振興課	課長補佐	山崎 高志	交流共創部観光文化振興課	課長補佐	下村 幸成	交流共創部観光文化振興課	主査	榊原 裕市	交流共創部スポーツ振興課	課長補佐	倉谷 和成	交流共創部スポーツ振興課	課長補佐	神谷 法子
日本福祉大学	千頭 聡																																																
NPO 法人やらまいか人まちサポート	牧野 明広																																																
西三河農業協同組合	黒野 善久																																																
西三河漁業協同組合	黒田 哲也																																																
西尾市観光協会	乾 浩泰																																																
連合愛知三河中地域協議会 西尾地区連絡会	小林 英明																																																
株式会社キャッチネットワーク	天野 栄																																																
西尾商工会議所中小企業相談所	蜂谷 佳夫																																																
西尾信用金庫	樺山 幸彦																																																
矢田つぼみ保育園	黒木 洋子																																																
総合政策部秘書政策課	課長	大野 修司																																															
総合政策部秘書政策課	主任主査	杉浦 祐嗣																																															
総合政策部秘書政策課	主査	都築 典恵																																															
総合政策部秘書政策課	主事	原田 英典																																															
産業部商工振興課	課長補佐	山崎 高志																																															
交流共創部観光文化振興課	課長補佐	下村 幸成																																															
交流共創部観光文化振興課	主査	榊原 裕市																																															
交流共創部スポーツ振興課	課長補佐	倉谷 和成																																															
交流共創部スポーツ振興課	課長補佐	神谷 法子																																															
内容	<p>1 あいさつ 秘書政策課長よりあいさつ</p> <p>2 議題 会長である千頭委員の進行で議題に入る。</p> <p>「西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく施策の令和4年度取組状況について」</p> <p>事務局より説明</p> <p>〈委員からの主な意見〉</p> <p>【千頭委員】 令和3年から令和4年にかけて人口は増えているが、日本人の人口に限ると減っているのか。</p> <p>【事務局】 令和3年10月と令和4年10月にかけて、外国人は382人増加、日本人は764人</p>																																																

減少となっており、日本人の人口は減少している。

【縦山委員】

人口動態の資料について、生産年齢人口も資料で触れてほしい。

【事務局】

次回から対応します。

【蜂谷委員】

第1回にしおマラソンでは、反省が多くあったと思う。第2回にしおマラソンでは、競技者や市民のかたの満足度を上げられるよう、地元との協力をきめ細やかにお願ひするなどして盛り上げてほしい。

【事務局】

第1回は試行的な部分もあった。各種団体との調整が不足していたことは反省点として受け止めている。

【黒野委員】

快適な暮らしを目指すなかで、家族ぐるみで遊べる公園があまりないと思う。碧南市の明石公園、安城市の堀内公園、岡崎市の南公園、刈谷市の児童公園のようなものがあるといいという意見をよく聞くが、そういった公園の計画はあるのか？

【事務局】

公園が少ないことは事実であると認識している。総合的に勘案しながら対応していきたい。

【縦山委員】

津波避難タワーについて、令和8年度までに10基とあるが今の状況はどのようなか。

【事務局】

令和3年度に2か所整備、令和4年度に2か所整備しており、現在は4か所整備済みである。今後、令和6年度から令和8年度にかけて毎年2か所ずつ整備していく予定となっている。

【縦山委員】

危険箇所のLINE通報について、発信はどのようにされているか？

【事務局】

道路の損傷、公園の不具合を今まで市民が市役所に電話していたものを、電話ではなくLINEで市民が市に対して発信するもので、令和5年9月ごろ導入予定で進めている。

【縦山委員】

河川防災情報整備事業について、具体的になにをやるのか？

【事務局】

浸水常襲地域とされている二の沢川、道光寺川、掘割川の3か所に、危機管理型水位計、簡易監視カメラ、浸水検知センサーを設置して、危険情報をLINEで知らせるものとなっている。また、河川の状況をリアルタイムで閲覧できるものとなっている。

【天野委員】

外国人が増えているという話があった。特定技能の拡大もあるなかで、多言語の対応はどのように進めているのか。また、外国人の定住にあたり、町内会での情報伝達のあり方、共働きが増える中で回覧板を回す方法などについてはどうか。

【事務局】

今後、西尾市だけでなく日本全体で外国人の受け入れ態勢を強化していかないといけないと認識している。西尾市でも多文化共生推進プランを策定し、自治会でのコミュニティも含めて対応していくことにしている。なお、現状の外国人向けの情報発信では、やさしい日本語での広報をしているほか、総合計画では市民向けのユーチューブチャンネルでの情報発信をしていくとしている。

【牧野委員】

外国人に Wi-Fi 設備が必要という話を聞く。目標数値 70 か所とあるが、具体的にどう進めていくのか。

【事務局】

減っているのは、機器が古くなり一斉に更新がかけられない状況がある。西尾市が設置したのは4か所、その他は民間が整備しているが、機器が古いので増えていかない。

インバウンド系の情報案内、看板などは不足している。プラットフォームをもう一度整備していきたい。

外国人もポケット Wi-Fi を持っているので、本当に必要かどうかも検討していく必要がある。

外国人の宿泊者数が増えていない理由は中国人の渡航が許されていない状況が続いているため、宿泊者数が少なくなっている。

【千頭委員】

外国人に限らず、町内会での情報の発信の仕方についてこれから行政としてどうするか。

【事務局】

外国人向けの情報発信について、なかなかうまく伝える術が無かった。広報でも言語の問題もあるため、今後は、LINE での情報発信が主になってくると考えている。

【樺山委員】

子ども食堂は市内にいくつ団体があるか。寺子屋推進事業では、実際にお寺は何か所協力してくれているのか？

【事務局】

子ども食堂は7団体ある。寺子屋は12箇所あり、そのうち、お寺は4箇所ある。

【千頭委員】

保育園での ICT はどのようなか。

【黒木委員】

朝の連絡事項に ICT 導入したことにより、電話対応が少なくなって、職員の負担が減ってきた。徐々に、紙媒体を減らし ICT に保護者が目を向けてくれるような体制を作っている。

【小林委員】

マルチカルチャーキャンプについて、ここ2年実績がない。目標値 50 人とあるが、今後の方向性は。

【事務局】

令和2年度に実施予定であったが、コロナで中止になっている。令和5年度も実施に向けて大学教授と調整したが、今年度の実施は難しいという返答を受けたと担当課より聞いている。

【黒野委員】

新規就農者等支援事業について、2行目に経営開始資金として上限1,000万円及び年間最大150万円とある。これは、国、県の事業であるが、上限1,000万円または上限500万円及び年間という記載にしないと国の事業としては合っていない。

新規就農者が15名のかたがいる。この事業は本当にありがたいものとなっている。

【事務局】

担当課に確認します。

【縦山委員】

「海外販路拡大事業」について、令和5年度以降の事業者に対してのプロモーション。日本の事業者か海外の事業者か具体的に教えてほしい。

【事務局】

令和5年度も海外プロモーションを行う。海外の旅行会社へアプローチし、西尾市への誘客を図る。インバウンドで力を入れるのが名古屋のツアー会社で、セントレアや名古屋に来た外国人が西尾市に来てもらうために名古屋の旅行会社と話しをしながら誘客していきたい。海外の事業者を招くのではなく、海外の事業者へ訪問する。

【乾委員】

現地の旅行会社へセールスをする。海外の旅行会社と日本の手配を請け負う会社（ランドオペレータ）へのセールスを観光協会としてやっていく。タイを中心に呼んできてくれそうなところを回っていく。

【千頭委員】

中心市街地活性化ビジョンは現在策定を検討しているのか。

【事務局】

現在、中心市街地活性化ビジョン Ver.0として、試験的に地域や若い方を巻き込んだ社会実験を展開しながら、正式なものを作成していく段階を踏んでいる。

【小林委員】

ローカル就活ガイドなどを発行されているが、企業の情報を紙面ではなく、デジタル版の配信はしているか。

【事務局】

今は配信まではしていないが、ニーズに応じて対応していく。

【小林委員】

学生志向でいうと、紙面よりデジタル媒体の方がよいと思うので、そういう方向性で考えてもらいたい。

【千頭委員】

デジタル化への取り組みに対して、何かアイデアがあれば。

【天野委員】

スマートシティの方向感、意向について、デジタルでまちづくりをラッピングす

る目線か。

【事務局】

今年度、刈谷、幸田町でスマートシティ構想を愛知県が旗振りで行っていく。実証実験を行うのはよいが、市に何が残るかを大事だと思っている。その部分が明確にわかるスマートシティ構想であれば乗ってもいいと考えている。

【天野委員】

大風呂敷でのスマートシティはそのとおりであるが、それほど求めている。危険箇所の LINE 通報や河川防災情報整備事業といったボトムでデジタルの取り組みを行っている。それをブランディングし、シティプロモーションの一環でそういうまちであることを見せていくことは大事だと思う。そのほうが、課題解決につながり住みよいまちになる。

【千頭委員】

買い物難民は、課題にはなっていないか。

【事務局】

移動販売車「とくし丸」のような提案もある。高齢化している地域ではそういう術があると助かるのではないかという提案もある。

【牧野委員】

移動販売車は、西尾では幡豆地区、東部地区には入っている。

【黒野委員】

移動販売車は強い要望はない。佐久島のインフラ整備が心配であると考えている。食料を船ではなく、ドローンで運べないかという話も聞く。

【事務局】

佐久島の物流は課題のひとつであり、ドローンの活用もあり得ると考えている。

【千頭委員】

e スポーツについて、学生には当たり前になっている。多文化交流、健康につながるとあるが、何か意見はあるか。

【牧野委員】

高齢者で親しむ人が増えている。健康、認知予防で高齢者のかたの利用も増えている気がする。地域包括支援センターと一緒に展開できると広がっていくと思っている。

【千頭委員】

観光分野でスマホを活用したスタンプラリーは広がっているのか。

【乾委員】

最近、スタンプラリーではなく、観光スポットをテーマごとにめぐるコースなどを見せていく PR している。

【蜂谷委員】

企業立地は製造業中心で分かりやすい。デジタルの話でいくと、IT 企業を誘致するとデジタル化も進むのではないかと思う。製造業だけでなくいろいろな企業を誘致してもらって何か効果が出るのではないかと思う。

【千頭委員】

ワーケーションの今後の見通しは。

【事務局】

Wi-Fi 環境や周知の仕方もあり進んでいない。ホテルとしても、ワーケーション

の部屋を設けることや1年間会社に貸すなどの取り組みを吉良温泉と少しずつ進めていきたいと考えている。

【千頭委員】

佐久島のクラインガルテンはどのようなか。

【事務局】

企業にも貸し出しているなので、そこはワーケーションとして使われているところもあると思う。

【縦山委員】

企業再投資促進補助金について、自然体で外から来てくれるのはありがたいが、あまり強引に誘致ではなく、優先としては市内企業を外に行かないように優遇策を持ってほしい。この補助金は成功していると思う。

【縦山委員】

体育館で大きなイベントを開催するのは大切だと思う。刈谷市などと比べると、収益性を考えたイベントが欠けているような気がするので、収益として成り立つかどうかまで含めた企画を考えてほしい。ビジネス視線を持って取り組んでほしい。

【事務局】

西尾市に観光してもらい宿泊してもらい、翌日スポーツを見てもらうということだと思うが、まだそこまで進んでいないのが現状。スポーツイベントは全国から来てもらえるので、スポーツツーリズムの推進として今後進めていきたい。

【千頭委員】

デジタル田園都市国家構想交付金を活用した5つの事業について、まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に役立っているかどうかを審議会で確認する必要がある。この5つの事業は効果があるということを確認させていただきます。

【千頭委員】

今後の予定について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

毎年行っている見直しを行います。7月に担当課へ照会し、9月中に第2回審議会を開催し、見直し内容について意見等をいただきたいと考えています。

【千頭委員】

KPIの目標値がこのままでは到達が厳しい指標がいくつかある。今後、それをどう対応するのか市の考えをご紹介いただきたい。

【事務局】

承知いたしました。

【千頭委員】

本日の審議会を終了します。

15時40分閉会